

こどもとまちを未来へ繋ぐ

大洗町活性化計画

子供と一緒に育つまち

建築設計科 14 小沼誠也
デザイン科 05 梅原柗人

子供を中心にまちづくりが始まり、
世代が変わり継続的な大洗町の発展に繋がること目指す

計画地

茨城県大洗町

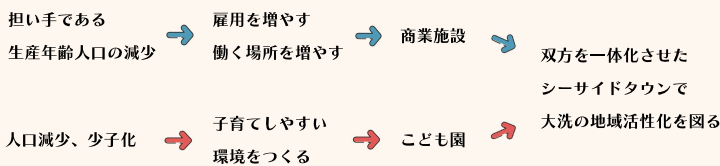
シーサイドステーション
フェリーターミナルトラック駐車場



大洗の今

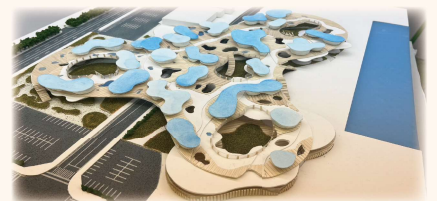
茨城県内で最も観光客数が多いが、人口減少、少子化、
生産年齢人口の流失が問題視されている。
今回の計画地であるシーサイドステーションはあまり店舗が
入っておらずシャッター街のようになってしまっている。
観光地としては残念な現状となっている。

提案ダイアグラム

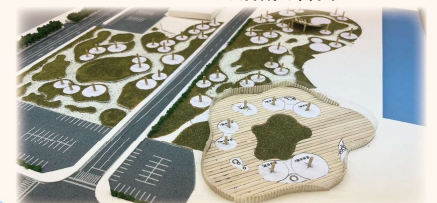


シーサイドタウン構成

こども園と店舗を配置し、
店舗は無造作にゆとりを持たせた配置



その上に吹抜けがついたペDESTリアンデッキを
計画し上下の繋がりをつくる
ペDESTリアンデッキにも店舗を計画



一体化のメリット

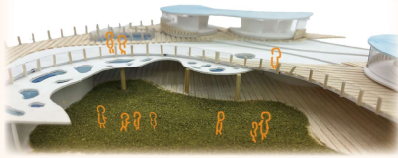
シーサイドタウン

働く場所を提供し、働き手の増加、観光地としての復興、
1年を通しての集客など大洗町の地域活性化に貢献
大洗に移住、定着してもらう

うみまちこども園

メインターゲットはシーサイドタウンで働く人の子供
急な発熱、体調不良にすぐ対応できる
地震などの災害にすぐ駆け付けられる
子供と離れる時間を少しでも減らせる
父親にも同様にメリットがある為、父親との関わりを増やせる
子供たちの小さいころからの社会参加

上下の関係



吹抜けがあることに様々な効果を生み出すことができる。

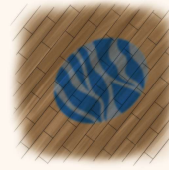
- 1. 彩光**
広い範囲にペDESTリアンデッキを計画しているため、1階に光が届かず暗くなってしまふ。吹抜けがあることにより1階に光をもたらす。さらに3つの彩光バリエーションがあり美しい空間を演出している。
- 2. 視線**
吹抜けからどんな店舗があるか見ることができ売上効果を高められる。こども園ではグラウンドで遊ぶ元気な子供たち眺められる。吹抜けを利用したイベントホールを計画しており、催し物がある際には好きな場所から観られる。
- 3. 移動**
吹抜けに階段を設置している場所もあり、ショッピングを楽しむ人々の動線をつくりあげている。

吹抜けバリエーション



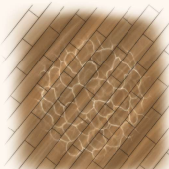
吹抜け

吹抜けになっており直接太陽光が差す。何も遮るものがないため、風の通り道や賑やかさなどが上げられる。



ガラス

吹抜けの場所に海をイメージした青いガラスをはめ込んでおり、光が差すと海の中の様な空間を演出することができる。また、この上は歩けるようになるためデッキの歩行可能な場所を減らすことはない。



池

吹抜けの場所に水を張ることで本物の水の影を落としている。こども園のエリアにも配置しており子供達の遊び場所にもなる。

うみまちこども園概要

認定こども園
定員：150～200名
建築面積：6,134㎡
駐車台数：30台（シーサイドタウン駐車場も利用可）

うみまちこども園イメージ



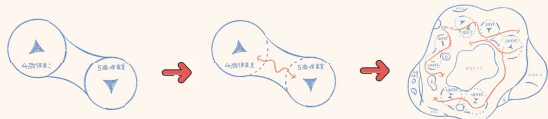
配置計画

グラウンドを中心に保育室等がまばらに配置されている。部屋同士に隙間が生まれそれが通路のようになり、こども園全体に周遊性が生まれ子どもたちが自由に動き回り遊ぶ事ができる。また、グラウンド上部のペDESTリアンデッキは吹抜けになっているため自然光が降り注ぎ、買い物客は元気に遊ぶ子供達を眺められる。グラウンドには仕切りがなく外郭に壁を設けるその壁の開口を開けることで外と中の空間を分断せず中間領域をつくる

可動間仕切り

保育室などの居室は可動式間仕切りになっており、時間帯、気候、イベントごとによって開閉できるようになっている

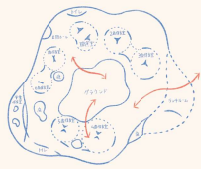
保育室



通常時は保育室の間仕切りとなっている

隣の保育室と一体となる

全ての間仕切りを取除くことでこども園の中を自由に動き回れる



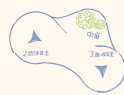
こども園の外壁となる部分も半分ほど開口する事ができ室内から外の空間へと変化する

中庭

保育室と保育室の間に中庭を設けると同じ場所でも違った空間に



閉める



2つの部屋を1つに

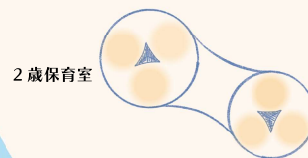


開ける

うみまちカフェ

こども園の隣に隣接しているカフェで、子供達が遊んでいる様子を見ながらお茶ができる。子供達がお店にきてお手伝いをしてくれる。

保育室間仕切り



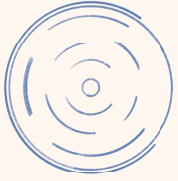
2歳保育室

3歳保育室

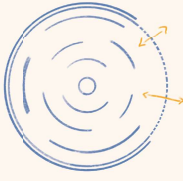
保育室は一つの空間に3～4部屋ほど計画している部屋は完全に仕切りではなく一部だけに壁を配置することで空間を広く保っている。

可動式間仕切り

店舗にもこども園と同じ可動式間仕切りを計画
開店時は間仕切りを開き、商品を見せ客の出入りを自由にする
閉店時には閉じる事ができる
また、間仕切りの位置を調整し店のレイアウトを変える事もできる

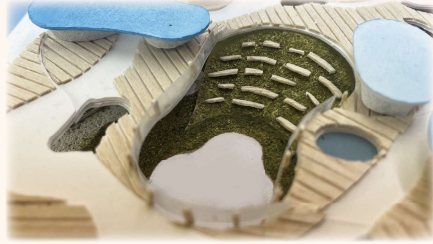


閉店時



開店時

イベントホール



イベントや講演会、ライブができるようにイベントホールを計画
スロープで上下をつなぎそこに客席を配置している。
この客席は可動式となっており、イベント等がない時には自由に移動して好きな場所で休憩したり、ランチを楽しむことができる。

噴水広場

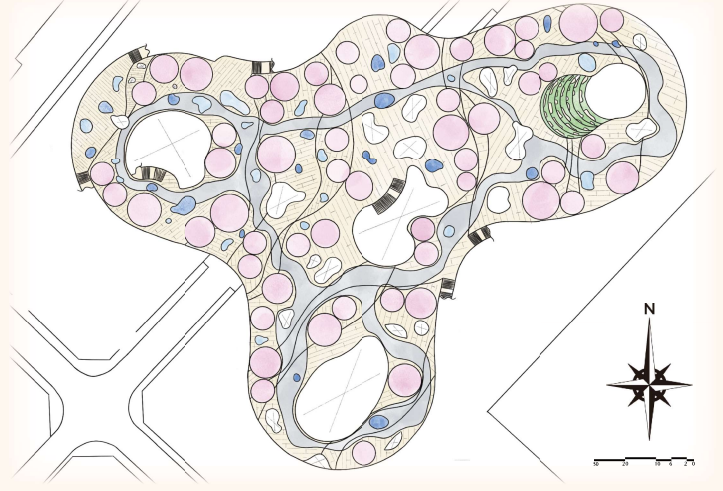
海側には噴水広場を計画しており、
買い物だけでなく海で遊ぶ事ができる。
干潟は浅いため小さな子供でも安心して遊ぶことができる。



シーサイドタウン平面図



1階平面図兼配置図



2階平面図

設計概要

設計地 : 大洗港区中央 11-2
用途 : 商業施設 (アパレル、飲食店、観光案内場、
カフェ、学習・コワーキングスペース等)

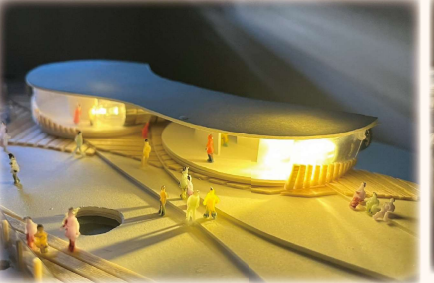
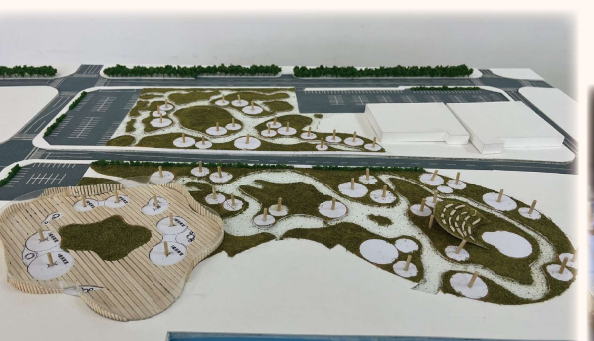
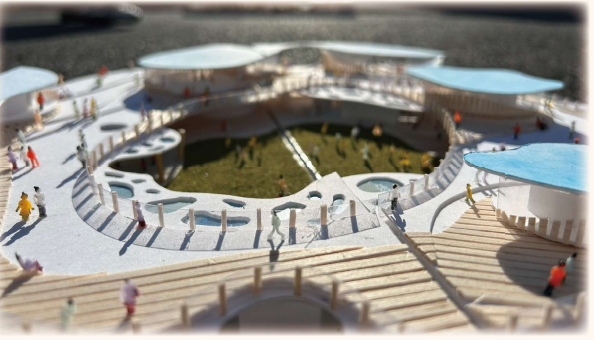
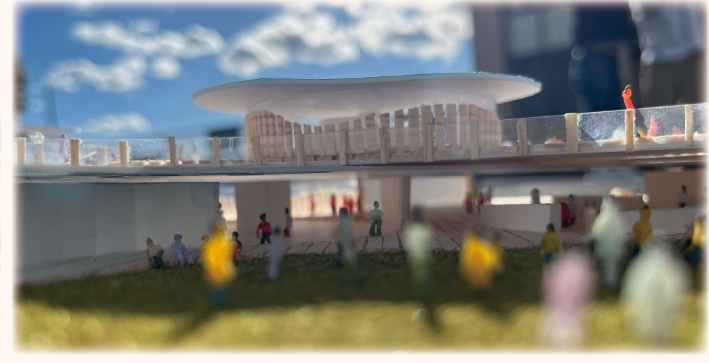
認定こども園
敷地面積 : 約 65.697 m² 構造 : RC造
建築面積 : 約 22.447 m² 店舗数 : 96 店舗

断面図 (開 ver)

15 10 5 3 1 0

断面図 (閉 ver)

15 10 5 3 1 0



こどもとまちを未来へ繋ぐ

大洗町活性化計画

建築設計科 14 小沼誠也
デザイン科 05 陶原裕人

子供と一緒に育つまち

子供を中心にまちづくりが始まる。
世代が変わり継続的な大洗町の発展に繋がることが目指す

計画地

茨城県大洗町

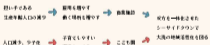
シーサイドステーション
フェリーターミナルトラッカ駐輪場



大洗の今

茨城県内で最も観光客数が多いが、人口減少、少子化、生産者兼人口の減少が顕著視されている。
今後の発展策であるシーサイドステーションはあまり店舗が入っておらずシャッター街の一帯のようになっています。
観光地として日々変化を繰り返している。

提案ダイアグラム



シーサイドタウン構成

こどもと店舗を配置し、
店舗は無造作に中取りを持たない配置



その上に取付けがたいペダストリアンデッキを
計画し上下の繋がりをつくる
ペダストリアンデッキにも店舗を計画



一体化のメリット

シーサイドタウン
働く世代を呼び出し、働く手の確保、観光客としての役割、
1年を通しての商業活動と大洗町の地域活性化に貢献。
大洗に魅力、定着してもらう

うみまちこども園

メインターゲットはシーサイドタウンで働く人の子供
多様な年齢、性別を高い密度で育てる
年齢に応じた遊び・学習の場を創出する
子供と親が安心して遊び・学習できる
大洗にも同様にネットワークがある。交通との関わりを視野する
子供たちの思いこころからの社会参加

上下の関係



取付けがあることにより多様な発展を生み出すことができる。

1. 既存
店1階側にペダストリアンデッキを計画しているため、1階に店を設けやすくなり、2階に店舗を設けることもより1階に比べて容易です。さらに1階のペダストリアンデッキが深い空間を確保している。
2. 取付け
取付けから上を店舗がある場合は、2階に店を設けることで、こども園では
ウッドデッキで遊べる子供が遊べる空間を創出する。取付けを有する店舗を計画して、遊べる空間を創出する。また、遊べる空間を創出する。
3. 取付け
取付けに階層を設けることで、ショップを創出し、人々の活動が促される。

吹抜けバリエーション

- 吹抜け**
取付けの吹抜けより連続的な吹抜けを、
吹き抜けの吹抜けは、風の通り道や
吹き抜けの吹抜けである。
- ガラス**
取付けの吹抜けにガラスを取り付け、
吹き抜けの吹抜けは、吹き抜けの吹抜けを
吹き抜けの吹抜けである。
- 池**
取付けの吹抜けに池を設けることで、
吹き抜けの吹抜けは、吹き抜けの吹抜けを
吹き抜けの吹抜けである。

うみまちこども園概要

認定こども園
定員 150 - 200名
建築面積 6,511㎡
敷地面積 30㎡ (シーサイドタウン敷地面積内)

うみまちこども園イメージ

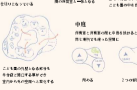


配置計画

幼稚園を中心に商業施設をまはらば設置されている。
商業施設は幼稚園を中心に設置されている。
こども園は商業施設がまはらば設置されている。
自由に遊びたい場所を設ける。
また、ウッドデッキの上にはペダストリアンデッキ
取付けになっているため自然光が取り込まれ、
美しい空間を創出する。また、遊べる空間を創出する。
ウッドデッキの上にはペダストリアンデッキ
取付けになっているため自然光が取り込まれ、
美しい空間を創出する。また、遊べる空間を創出する。

可動間仕切り

保育園などの施設は可動式間仕切りによって、
時間帯、年齢、イベントなどによって調整できるようにしている。



うみまちカフェ

こども園の隣に設置しているカフェで、
子供達が遊んでいる様子を見ながらお茶ができる。
子供達が自由に遊べるようにしている。

保育室間仕切り

保育室間の間仕切りは、
子供達が遊んでいる様子を見ながらお茶ができる。
子供達が自由に遊べるようにしている。

可動式間仕切り

店舗にもこども園と同じ可動式間仕切りを計画
店舗間は間仕切りを調整し、商品を見せる出入り
に自由にする際に調整し店舗のレイアウト
を変えられるようになる



イベントホール



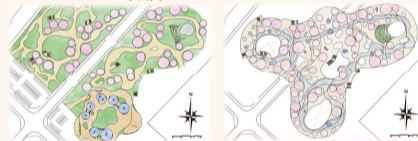
イベントや講習会、ライブができるようにイベントホールを計画
スロープで上下をつなげることで階段を配置している。
この階段は可動式となっており、イベント等がない時には自由に
移動して好きな場所へ移動し、ラングを楽しくすることができる。

噴水広場

海側には噴水広場を計画しており、
若い世代だけでなく高齢者まで楽しめる。
子供が思い思いの小さな子供遊具も安心して
遊ぶことができる。



シーサイドタウン平面図



1階平面図兼配置図

2階平面図

設計概要

設計地 茨城県大洗町 11-1
所在地 大洗町 11-1
建築面積 6,511㎡
敷地面積 30㎡ (シーサイドタウン敷地面積内)
認定こども園
建物面積 約6,511㎡ 階数 地上2階
建築面積 約6,511㎡ 階数 地上2階

断面図 (開 ver)



断面図 (閉 ver)

